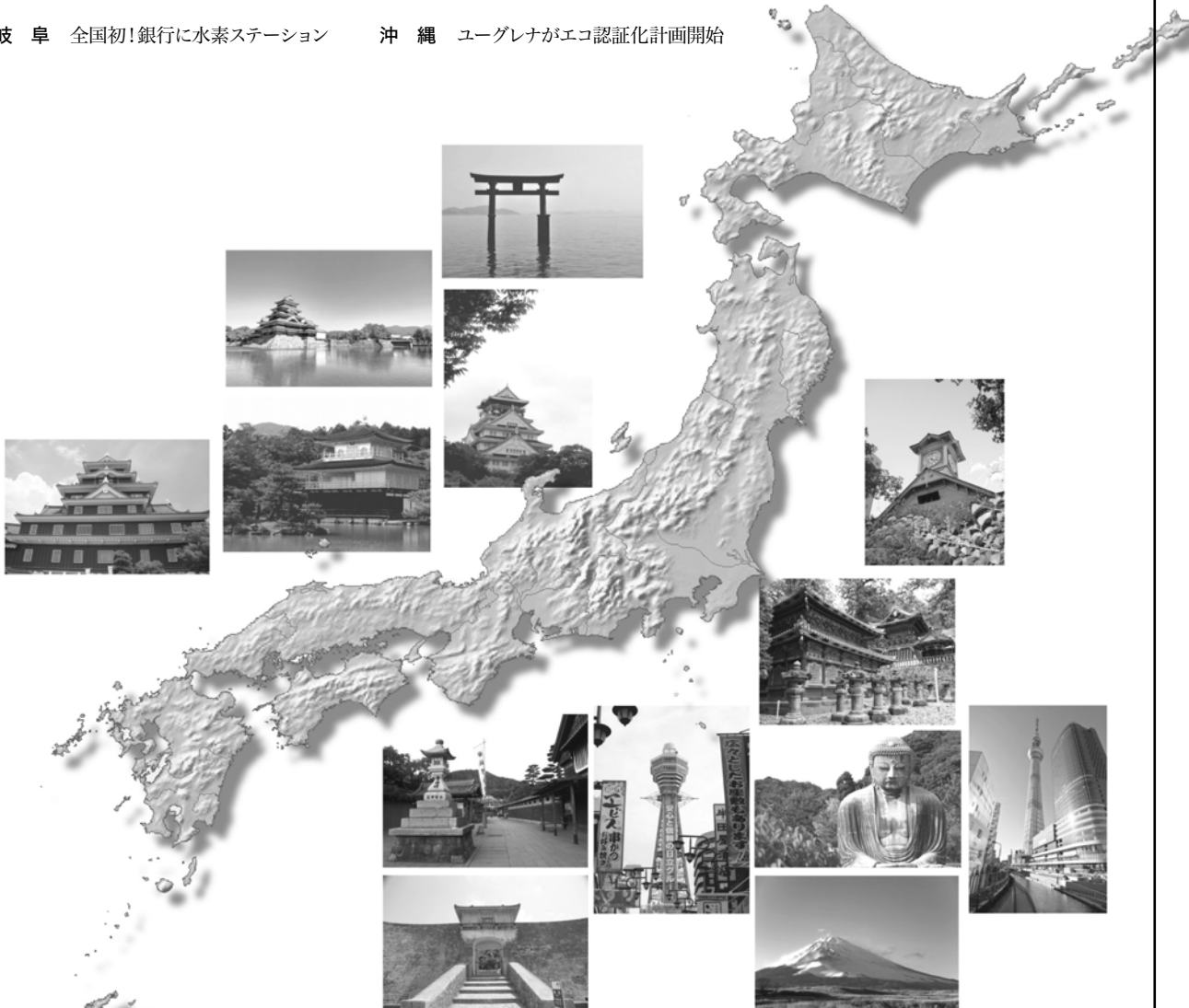


# 列島いんふおめーしょん

## 列島 information

### 5月号の主な話題&ふるさとだより

北海道	ホッキョクグマ館がパワーアップ	愛知	高効率化ガス火力がギネス認定
宮城	日本製紙のバイオマス発電竣工	福井	海藻に「メタボ抑制」の効果あり!
栃木	〃県都〃の路面電車計画発進!	京都	比叡電鉄に深緑の観光電車登場
千葉	3本目滑走路新設に向け〃離陸〃	和歌山	南海電鉄が高野線再開キャンペーン
東京	三菱総研がリハビリにIoT活用	愛媛	〃県都〃が「イクレイ」に県内初加盟
神奈川	軍港の町に「アンデスの妖精」!?	福岡	「三井財閥の迎賓館」リニューアル
新潟	再エネ市民団体が村上市とも提携	長崎	大村市が水道用水を使って発電
岐阜	全国初!銀行に水素ステーション	沖縄	ユウグレナがエコ認証化計画開始



## 北海道

### ホッキョクグマ館がパワーアップ

札幌市 3月13日、同市の円山動物園(市営)で新施設「ホッキョクグマ館」がオープン。鉄筋コンクリート2階建て、総面積1500㎡強で、メインプールの水深は3.7m。旧館と比べ放牧場面積で約5倍、プールの水深で約2倍にパワーアップ、建設費は約23億円。目玉は水中を観覧できる全長18mのトンネルで、国内では上野、日本平(静岡)に続いて3例目だが長さは国内一。放牧場が一望できる他、ホッキョクグマの豪快なダイブを間近で「体感」でき



「新ホッキョクグマ館」(円山動物園)

るのがウリ。「デナリ」(オス、24歳)、「ララ」(メス、23歳)、「リラ」(ララの子、オス、3歳)、「キャンディ」(オス、25歳)の4頭がお出迎え。

## 青森

### 北海道新幹線とガチンコ対決!?

青森市 3月23日、青い森鉄道(本社・同市。千葉耕悦社長)は、津軽海峡の対岸にある津軽海峡フェリー(本社・北海道函館市。村上玉樹社長)とタッグ、鉄道とフェリーを連携させた初の青函アクセス割引切符「海峡ゆつたどきつぷ」を4月10日から発売。八戸と青森を結ぶ同鉄道と青函フェリーを連携、八戸と函館の料金は大人3800円。通常は計5470円(フェリーは繁忙期料金)となり、約3割、1670円のお得(但し青森駅と青森フェリーターミナル間約3kmのバスは別途料金)。同切符は同鉄道の八戸、三沢、野辺地、浅虫温泉、青森の5駅、函館フェリーターミナルで購入可能。

## 岩手

### 地元地銀3行が東京に移住窓口開設

遠野市 3月27日、盛岡に本店

を置く地方銀行3行、岩手銀行(田口幸雄頭取)、東北銀行(村上尚登頭取)、北日本銀行(柴田克洋頭取)は、同市の移住・定住を促進する組織「で・くらす遠野」(2006年設立)を「援護射撃」するため、2018年4月下旬に各行の東京営業部・支店にそれぞれ専門の相談窓口を設置すると発表。3行は同市と地方創生連携協定を締結しており、これは地域振興・活性化に向けた協働の取り組みの一環で、移住支援策や雇用・就職支援策などに関する情報提供を行なう。金融機関の支店に自治体の移住促進の窓口を設置する例は全国的にも非常に珍しい。

## 秋田

### 「最後の空襲」を忘れぬために

秋田市 3月24日、同市土崎地区に「市土崎みなと歴史伝承館」が開館。同地区のコミュニティ拠点、文化・歴史の「伝承基地」を目指すもので、ユネスコ無形文化遺産に登録された曳山行事や痛ましい空襲の記憶なども紹介。特に後者は、終戦間際8月14日深夜と15日未明にか

け米軍により強行された「最後の日本空襲」で約250人が死亡。標的とされた旧日本石油秋田製油所の倉庫の一部を同館に移築・復元している。なお同館は鉄筋コンクリート2階建て、延べ床面積約1400㎡で、1階に展示される高さ11・5mの曳山は圧巻。入場無料。

## 山形

### 蔵王山は「ざん」か「さん」か?

山形県 山形・宮城両県の「国境」にそびえる「蔵王山」(標高1841m)の読み方は「ざおうざん」か「ざおうざん」のどちらか? 前者は宮城側、後者は山形側での主たる呼び名だが、実は国土地理院ではこれまで宮城側の「ざおうざん」で地図での明記を統一して来た。だがこれにお膝元の山形市が以前から「もの言い」を続け、遂に同院は3月6日「ざおうざん」を併記する作業を開始。同市が周辺の山形5市町を「援軍」として迎えて忍耐強く働きかけた「粘り腰」の勝利だ。取り急ぎ同院は「日本の主な山岳標高」や「地名集日本」などウェブサイト内の資料から併記へと修正する。

## 宮城

### 日本製紙のバイオマス発電竣工

**石巻市** 3月1日、日本製紙（本社・千代田区。芳賀義雄社長）は、同市に建設の石巻雲雀野発電所を竣工、本格稼働に移行。同社7割、三菱商事パワー（本社・千代田区。石川剛社長）3割がそれぞれ出資して新設された合弁企業・日本製紙石巻エネルギーセンター（本社・同市。東藤芳臣社長）が運営、石炭7割、木質バイオマス3割の混焼方式で出力14万9000kWと同方式では国内最大。今後バイオマス比率を徐々にアップする計画で、電力の大半は買電。日本製紙が収益の新たな柱として期待する発電事業の中核でもある。



「石巻雲雀野発電所」（日本製紙）

## 福島

### 県初の総務省事業型テレワーク

**田村市** 3月21日、同市にテレワーク（ICT）を駆使してオフィスから離れた場所でも仕事ができる）拠点「テラス石森」が開設。閉校した旧石森小学校を再利用、整備費約2800万円は、総務省の「ふるさとテレワーク推進事業」の補助金で全額カバー。なお同事業によるテレワーク拠点整備は県内初。賃貸料は企業向けの「サテライトオフィス」（24時間使用可、登記可、完全個室）で3〜7万円／月、主として個人向けの「オープンワークスペース」で、1000円／日、1万5000円／月。テレビ会議システムや宅配便受け取りサービスなども用意。

## 栃木

### 「県都」の路面電車計画発進！

**宇都宮市・芳賀町** 3月20日、JR宇都宮駅東口〜芳賀・高根沢工業団地（芳賀町）間約14・6kmを結ぶ次世代型路面電車LRTの敷設計画に対し、国交相が工事施行を正式認可、3月から工事が開始された。

同計画は同市・町や地元商工会議所、東武鉄道（本社・墨田区。根津嘉澄）、地元バス事業者などが出資し設立した第三セクター「宇都宮ライトレール株式会社」（本社・同市。高井徹社長）元同市副市長）が運営予定で、2021年に開業の予定、総事業費は約458億円。

## 茨城

### 薬師如来さま470年ぶり修復

**桜川市** 4月5〜11日、同市の椎尾山薬王院（782年建立）の薬師如来像が470年ぶりに修復されたのを受けて特別開帳。如来像は毎年4月8日に開帳されているが、本堂奥の厨子に安置された姿は両腕がなく、光背や台座などもないまま。これは戦国時代の1550年（天文19年）に同院が大火に見舞われた際に損壊したもので、同像は池に沈められ難を逃れたものの、その後本格的な修理は施されていないかった。

## 群馬

### 新島短大の円形校舎が文化財に

**高崎市** 3月9日、新島学園短期大学（本部・同市。湯浅康毅理

事長）は、シンボリック的存在の「円形校舎」（研究棟）が国の文化審議会登録有形文化財（建造物）への登録を文部科学相に答申したと発表。1981年に旧高崎市立女子高から引き継いだもので、1956年建造の鉄筋コンクリート造3階建て。県内に現存する唯一の円形校舎でもある。

## 千葉

### 3本目滑走路新設に向け「離陸」

**千葉県** 3月13日、成田空港に関する国と成田国際空港会社（NAA。本社・成田市。夏目誠社長）、県、地元9市町による四者協議会が開催、成田空港に3本目の滑走路の新設や、発着時間延長を骨子とした空港機能強化案に合意。発着時間延長は1978年の開港以来40年ぶり。インバウンド増加に伴う「空の玄関」の間口拡大策で、具体的には現行B滑走路の延長（2500m↓3500m）、3本目のC滑走路（3500m）新設、発着時間延長（現行6〜23時↓5〜0時半）などを実施。現在の年間発着数約30万回を、C滑走路完成予定の10年後に

約50万回へと二気に拡大する目論見だ。

## 埼玉

### 温泉道場が町営健康センター運営

**越生町** 3月20日、日帰り温泉運営の温泉道場（本社・埼玉県ときがわ町。山崎寿樹社長）は、同町と町営のふれあい健康センター「ゆうパークおこせ」と賃貸契約（20年）を締結、4月1日から新体制をスタート。同施設は1995年開業、キャンプやバーベキュー、浴場、温水プール、フィットネスなどが楽しめる、「大自然の中のリゾート施設」がウリだが、経営的に低迷が続く同町の負担となっていた。

## 東京

### 三菱総研がリハビリにIoT活用

**千代田区** 3月13日、三菱総合研究所（本社・同区。森崎孝社長）は、介護・運動用各種センサー開発のMof f（本社・同区。高萩昭範社長）の協力を得て開発したIoT身体機能計測サービス「モフ測」（もふそく）を販売。ウェアラブル・センサー「Mof f Band」を手足

に装着、歩行、バランス、腕の動作、間接領域を計測、リハビリ効果を高めるサービスで、計測結果を手軽に安価かつリアルタイムに「見える化」できるのがミソ。測定結果はタブレット画面に表示され、画面を見ながら本人自らが確認、運動への「気づき」を提供、リハビリに対するモチベーション向上や、医療と介護間の情報共有、データ連携への活用も期待される。なお5月の第91回日本整形外科学会学術総会、6月の日本リハビリテーション医学会第55回学術集会などへの出展も予定。

## 神奈川

### 軍港の町に「アンデスの妖精」!?



ソレイユの丘にやって来たアルパカ（長井海の手公園ソレイユの丘）

**横須賀市** 3月17日、その愛くるしい表情から「アンデスの妖精」との異名を持つアルパカの展示が同

市の「長井海の手公園ソレイユの丘」（経営母体…長井海の手公演パートナーズ、代表企業・西武造園。本社・豊島区。林輝幸社長）で開始。園内の子供向け屋外施設「ふれあい動物村」に2頭が仲間入り。動物村の入場料は310円だが鑑賞のみは無料。

## 新潟

### 再エネ市民団体が村上市とも提携

**村上市** 3月23日、再エネ普及を推進する市民団体、一般社団法人「おらってにいがた市民エネルギー協議会」（本部・新潟市中央区。佐々木寛代表）は同市と「持続可能な低炭素社会まちづくり推進のためのパートナーシップ協定」を締結。2018年度から、し尿処理センター屋根に設置した294枚の太陽光パネル（約80kW）で発電事業を開始（FITにより東北電力に売電）、子供達への環境エネルギー教育や再エネシンポジウム（5月）なども開催予定。当会にとり自治体との協定は新潟市に続き2番目。ちなみに同会の会員数は180名超で、再生エネ市民団体では最大。

## 山梨

### 「のめこい湯」がリニューアル

**丹波山村** 3月15日、同村が経営する日帰り入浴施設「丹波山温泉 のめこい湯」がリニューアルオープン。隣接する道の駅「たばやま」と共に2000年に開業した施設だが、老朽化のため約1億1000万円をかけて施設を改修。露天風呂を全面変更した他、1階の休憩室を洋風に改装、バリアフリー対策も強化。

## 静岡

### お茶の博物館が旗揚げ

**島田市** 3月24日、同市で「ふじのくに茶の都ミュージアム」が開



締結式に臨む高橋邦芳・村上市長（左）と佐々木代表（おらってにいがた市民エネルギー協議会）

館。元市営の「お茶の郷博物館」が県に移管、大規模改装されたもので、「茶の国」を自負する県が、お茶の産業・歴史・文化の発信基地として位置付けたもの。敷地は約1万9000㎡で3階建の博物館の他（3階には「世界のお茶」のブース）、レストランや店舗が入居する2階建ての商業館、茶園付き茶室が併設。

## 長野

「田中」が縁で台湾鉄道と姉妹に

上田市 3月22日、しなの鉄道（本社・同市。玉木 淳社長）は台湾鐵路管理局と友好関係を締結。インバウンド誘致の一環で、両社は沿線地域の観光などで連携、相互送客などでも協力する。また両鉄道には同じ「田中駅」があることから両駅の姉妹駅協定も締結、3月26日、台湾の田中駅で式典を開催。

## 岐阜

全国初！銀行に水素ステーション

養老町 3月29日、大垣共立銀行（本店・岐阜県大垣市。土屋 嶋頭取）は同町にある船附出張所に、燃料電池車（FCV）向けの「OK

B大垣養老水素ステーション」を開設。金融機関によるこの試みは全国初で、すでに県内で2カ所の水素ステーションを手がける清流パワーエナジー（本社・岐阜市。酒井康弘代表取締役）が同出張所の敷地の一部を賃借し設置・運営を担当。水素供給能力は100Nm<sup>3</sup>/h以上（2台分/h）、充填速度は5kg/3分程度、常時20台分の水素を用意。

## 愛知

高効率化ガス火力がギネス認定

飛島町 3月27日、中部電力（本社・名古屋市中区。勝野 哲社長）と東芝エネルギーシステムズ（本社・川崎市幸区。油谷好浩社長）は、同町の中部電力西名古屋火力発電所7・1号で発電効率63・08%を達成、世界最高効率のコンバインドサイクル発電設備としてギネス世界記録認定を受け、授与式が行われた。同設備はガスタービン3基に1基の蒸気タービンを組み合わせた多軸式コンバインドサイクル発電方式で、2012年に東芝（現・東芝エネルギーシステムズ）が納入、2017年9月に営業運転を開始したもの。

## 富山

「あいトレ」に新駅誕生

高岡市 3月17日、「あいトレ」の愛称で親しまれている、あいの風とやま鉄道（本社・富山市。日吉敏幸社長）に新駅「高岡やぶなみ駅」がオープン。高岡駅―西高岡駅間約5kmのほぼ中間で、相対式ホーム2面2線、東西に駅舎を配し、エレベーター、無人改札を設置、跨線橋も構築し自由通路として地域住民のアクセスにも配慮。総事業費は約8億円で、乗降客見込みは1日約1600人。ちなみに駅名は、大伴家が万葉集に地元を「荊波の里」と詠んだことにちなんだもので、市民による駅名投票で選ばれた。

## 石川

IT企業が観光支援サテライト開設

加賀市 3月27日、人材採用支援事業を手掛けるIT企業アドヴァンテージ（本社・横浜市港北区。中野尚範社長）は、「中小・中核企業の人材採用支援」で市と連携、市内にサテライトオフィス「ADVLab.（アドヴァンテージラボ）」を開設する

（2018年6月予定）と発表。市はIT関連企業誘致のため新たな企業立地支援制度を設けているが、その適用第1号でもある。

## 福井

海藻に「メタボ抑制」の効果あり！

福井市 3月14日、福井県立大学（本部・同県永平寺町。進士 五十八学長）は、海藻の一種「エゴノリ」に血糖上昇抑制作用と脂肪肝抑制作用があることを発見したと発表。水産物加工品製造業の輪島・海美味工房（本社・石川県輪島市。新木順子代表）と共同で機能的評価、マウス実験で食後の血糖値上昇を抑制する作用、またヒト由来の肝細胞株で脂肪蓄積を抑制する作用をそれぞれ発見。今後エゴノリを使用した新機能的食品の開発などが期待されている。

## 三重

鈴鹿高専に全国初の協働研究室

鈴鹿市 3月30日、鈴鹿高専（本部・同市。新田保次学長）は、校内の共同研究推進センター内に「産学官協働研究室」を開設。企業と

連携、研究を通じて人材育成を図るのが狙いで、民間企業との研究で高専が研究室を開設するのは全国初。塗装開発のデイ・アンド・デイ（本社・同県四日市。水越重和代表取締役役）と、スポーツ用品製造のミズノテクニクス（本社・岐阜県養老町。中田 匠社長）が参画、両社とも研究費600万円を出資、2年間にわたり、前者は高耐久性塗料の開発、後者はカーボン強度・耐久性の研究を行なう。

## 奈良

### 木簡データベースがパワーアップ

奈良市 3月22日、奈良文化財研究所（本部・同市。松村恵司所長）は、既存の2つの公開データベース（DB）、「木簡データベース」（文章や遺跡名、年代などの検索）、「木簡画像データベース」（文字画像検索）「データベース・木簡字典」を統合、「木簡庫」として「新装オープン」。

木簡点数約5万3000点、文字画像数約10万点のデータを融合、木簡と画像を連動させて検索できる他、検索機能を強化、汎用性を持たせ、一般人で利用しやすくしたり、

個別木簡のパラメーターからの再検索・リンク機能を付加したりなど、使い勝手をアップ。ちなみに木簡DBは国内唯一。

## 滋賀

### 琵琶湖を意識した新商業モール

大津市 3月27日、アーク不動産（本社・大阪市中央区。高山芳夫社長）は、2017年8月閉店した

大津パルク跡地ビルを買収、4月27日にショッピングモールとして新規オープンすると発表。新名称は「Oh! Me（オーミー）大津テラス」で、「私」と「近江」の意味を込め、全体に琵琶湖をイメージ。

8階建てで、平和堂経営のスーパー「フレンドマート」（1階）や、県内初出店のレンタルDVD・書店「ツタヤ」（2階）のブックカフェ、家電量販店「テックランド」（3階）など34件の商業テナントが入居、7階の映画館「ユナイテッド・シネマ大津」は存続する。

## 京都

### 比叡電鉄に深緑の観光電車登場

京都市 3月21日、比叡電鉄（本



新型観光用車両「ひえい」（比叡電鉄）

社・同市左京区。塩山等社長）で、新型観光用車両「ひえい」が出発。深緑の車体で同電鉄の2つの終着点「比叡山」「鞍馬山」の持つ荘厳で

神聖な空気感、木漏れ日、静寂な空間から感じる大地の気やパワーをイメージ。また特徴的な楕円を配した

前面は「時空を超えたダイナミズム」を表現しているという。座席はバケットシートで車内照明には同社の車両初のLEDを採用。同社本線の出町柳駅〜八瀬比叡山口駅間を、火曜日を除く毎日運行。

## 大阪

### 近鉄が政策投資銀格付けで快挙

大阪市 3月30日、近畿日本鉄道（本社・大阪市天王寺区。和田

林道宜社長）は、日本政策投資銀行（本店・千代田区。柳 正憲社長）の

「環境格付」と「BCM（事業継続マネジメント）格付」で、共に最高ランクとなる「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」「防災および事業継続への取り組みが特に優れている」を同時獲得。同時取得は6年連続で全国初。

## 和歌山

### 南海電鉄が高野線再開キャンペーン

和歌山県 3月31日、南海電鉄（本社・大阪市浪速区。遠北光彦社長）は、南海高野線の全線運転を再開。

昨年10月23日、台風21号による地滑りで同線上古沢駅（同県九度山町）構内の線路が故障、高野山方面に伸びる高野下〜極楽橋間を運休、同区間を代行バスで連絡することを余儀なくされた。今回、単線である同区間の輸送力増強も図るため、復旧工事と並行して、列車行き違い機能（並行線敷設）を旧来の上古沢駅から下古沢駅へと変更する工事も実施。また同社は4月1日〜27日に高野線運転再開キャンペーン

も実施、「高野山・世界遺産きつぷ」(なんば)極楽橋「高野山」ケーブルカー間。通常、大人3440円↓2860円。連続2日間のフリー切符)購入者に、高野山内の土産物店、飲食店で使用できる「お土産引換券」を2枚(小児は1枚)プレゼント。

## 兵庫

### 災害時のペット避難所はゴルフ場

宝塚市 3月23日、同市は市内の宝塚高原ゴルフクラブと旭国際宝塚カンツリー倶楽部との間で「ペット避難等の災害時支援協力に関する協定」を締結。大地震や風水害などが起きた場合、市民は犬猫などのペットと一緒にクラブハウス内で避難生活ができるというもの。全国的にも非常に珍しい取り組みだ。

## 岡山

### 岡山天文博物館が新装オープン

浅口市 3月24日、リニューアル工事中だった同市運営の岡山天文博物館が営業を再開。同館は国立天文台岡山天体物理観測所に隣接すること有名だが、今回の改修工

事では、鉄骨2階建て(一部1階)の建物(126㎡)を延べ680㎡まで大幅増築、ガラス張りのホールや展望デッキから、地元特産品などを扱う販売コーナーなどを設けた。またプラネタリウムには超高輝度LEDで星の明るさを2.5倍にする他、全天を32分割投影してよりリアルな星空を再現する世界最小型の投影機を導入、もちろん国内初だ。

## 広島

### 国営備北丘陵公園が一部無料へ

庄原市 3月24日、同市の国営備北丘陵公園で最北端の北入口エリア約4.5haを入場無料(通常は大人450円)とする試みを開始。市や国交省中国地方整備局などが同公園を地域活性化の起爆剤にするために設立した「備北丘陵公園北エリア運営協議会」による発案で、第5駐車場やドッグラン、飲食店を抱える「エントランスセンター国兼」、国兼池を控える芝生広場を含む。同エリアを「里山の駅庄原 ふらり」と名づけ、各種イベントなどを誘致し集客を図る。なお、国営公園の無料化は全国的にも珍しい。

## 鳥取

### 円形校舎がフィギア博物館に

倉吉市 4月7日、同市の旧明倫小学校の円形校舎を活用した「円形劇場くらよしフィギアミュージアム」オープン。1955年完成建造の「日本最古の円形校舎」で、鉄筋コンクリート3階建て、直径25m。老朽化のため解体の運命にあったが、耐震補強を行なうことで国内最大級のフィギア博物館として復活。住民などが出資して旗揚げした会社「円形劇場」(本社・同市。稲嶋正彦社長)に市が無償貸与し、海洋堂(本社・大阪府門真市。宮脇修一代表取締役)、グッドスマイルカンパニー(本社・千代田区。安藝貴範社長)、ガイナックス(本社・東京都武蔵野市。山賀博之代表取締役)のフィギア・メーカーも全面支援。

## 島根

### 三江線廃線後の代替バス発車

鳥取県 4月1日、前日に廃線になったJR三江線(江津駅〜三次駅間約108kmの代替交通手段として、県内の江津市〜川本町(約

30km)を結ぶバス路線「江津川本線」が営業を開始。バス事業の石見交通(本社・益田市。小河英樹社長)が運行、沿線自治体が一部を補助する。バスは55人乗りで運賃は160〜1140円、1日6往復する。

## 山口

### 住民90人の離島結ぶ航路に新船

下関市 4月1日、同市吉見漁港と住民90人ほどの離島・蓋井(ふたおい)島をつなぐ市営渡船に新造船「蓋井丸」(49トン、全長約25m、旅客定員80人)が運航開始。旧「蓋井丸」が就航20年に達し老朽化したための更新で建造費は約3億円。速力12.5ノット(時速約23km)で、航路約14kmを40分前後で連絡、1日2〜3往復。

## 香川

### 全国初の全県統一水道事業が開始

香川県 4月1日、一部の離島を除く全県の水道事業を一括運営する全国初の事業がスタート。2017年11月発足の「県広域水道企業団」(本部・高松市。浜田恵造企業長)

が運営で、直島町（岡山から受水）以外の8市8町と県の水道事業を統合、人口減少に伴う採算悪化の歯止めと設備の老朽化への対処を規模拡大で臨む。今後10年をめどに水道料金の統一や浄水場の統廃合を行なう。

## 愛媛

『県都が「イクレイ」に県内初加盟

松山市 3月1日、同市は「イクレイ（ICLEI）」の持続可能性をめざす自治体協議会「」に加盟。イクレイは低炭素社会実現のために積極的な活動を推進すると認められた自治体が加盟できる国際組織で、ドイツのボンに本部を置き、全世界1500超の自治体が加盟。日本では東京都や京都府／市、名古屋市、札幌市など松山を含め20自治体しか参画を許されていない。

## 徳島

橋の老朽化調査にドローン活用

那賀町 4月11日、同町は手間・暇・コストのかかる橋梁の点検作業をドローン（小型無人機）で行なう実証試験を実施。通常はGPSを

駆使するが、橋桁の下に潜り込んだ点検作業も多く、GPSに必要な衛星からの位置測定電波を受信できない恐れがある。このため、レーザー光を使つて位置情報を補足、自動制御する機能が現場でも有効か否かを主として確信。実機はジッタ（本社・松山市。山内延恭社長）を使用。ちなみに同町は県から「ドローン特区」の認定を受けている。

## 高知

『平成の海援隊』を始動

高知県 4月21日、県は現在展開中の「志士高知 幕末維新博」第二幕と銘打った地域活性プロジェクト「平成の海援隊」を始動。県立坂本龍馬記念館をメイン会場に県内各地の会場でさまざまな企画展示を行なう他、ファッション、玩具など多様な企業・団体と連携。例えば、スニーカーなどのセレクトショップ「atmos」を展開するテキストレーディングカンパニー（本社・渋谷区。本明秀文代表取締役）は高知を意識した新商品開発や店舗での情報発信、DeNA Games Tokyo（本社・千代田区。井口徹也社長）

は開発・提供するゲーム内に県名産品をアイテム化、など計7社が協力。

## 福岡

『三井財閥の迎賓館』リニューアル

大牟田市 4月7日、同市にある三井港倶楽部がリニューアルオープンした。同施設は三池炭鉱の開発で隆盛した三井のシンボルの存在で1908（明治41）年に開館。「三井財閥の迎賓館」とも呼ばれる施設は白を基調とした英国風の木造2階建て（665㎡）で、広大な芝の庭園が有名。築100年の明治期の



リニューアルした「三井港倶楽部」（三井港倶楽部）

建築物として市の有形文化財にも指定。結婚式場などとして使用されていたが、2018年1月末からリ

ニューアル工事を実施、部屋の壁紙やカーペット、カーテンの更新に加えバリアフリー化や調理室の刷新などを実施。またレストランも「料理の鉄人」でお馴染みの坂井宏行シェフ監修の高級フレンチを提供。ちなみに同施設の所有は三井松島産業（本社・福岡市中央区。天野常雄社長）で、これまで施設を維持して来た地元経済界の有志による保存会から2017年に経営を移譲された。

## 佐賀

『うれしの茶』をもっとPR！

嬉野市 4月1日、同市は地元名産の「うれしの茶」をPRするための情報発信拠点、「うれしの茶交流館・チャオシル」をオープン。市内の茶業研修施設「嬉茶楽館」に隣接する同施設は、敷地面積約1万㎡、鉄骨平屋建て（約900㎡）で展示室や体験室、研修室、売店を設置。総工費は約5億9000万円、施設裏に約2000㎡の茶畑が控えるのも特徴で、茶摘みも体験できる。



## 長崎

大村市が水道用水を使って発電

大村市 4月3日、同市は「坂口浄水場」を稼働。いわゆるマイク口水力発電で、市内の荳瀬ダム、坂口浄水場の落差（124m。有効落差約31m）を使い約8kmの導水管を構築して発電するもので、総事業費は約1億1000万円、出力約27万4000kW（一般家庭約75世帯分。最大49kW）で、全量を九州電力に売電する計画。

## 大分

全国初の受動喫煙対策ファンド

大分市 4月2日、大分県信用組合（本店・同市。吉野一彦理事長）は、全国初の受動喫煙防止対策融資ファンド「まろっと健康」を開始。同対策の工事や喫煙専用室の撤去を試みる県内の飲食店、旅館、小売店などに低利融資（最優遇金利1・675%）するもので総額20億円、融資上限5000万円、融資期間15年以内、1000万円未満は原則無担保という有利な条件だ。

## 熊本

「10万に1つ」の幸運の白ナマコ

天草市 3月28日、同市の「わくわく海中水族館シードーナツ」（運営母体は天草パールセンター。本社・同市。田辺広見社長）で白いナマコの展示が開始。近隣の海で住民が発見したもので、「10万匹に1匹」と言われるアルビノ種。その稀少さから「幸運のナマコ」とも言われる。

## 宮崎

「天孫降臨」の地に新ホテル開業

高千穂町 3月16日同町で「ソレスト高千穂ホテル」が開業。飲食・観光事業のミネックス（本社・宮崎市。峰山勝美社長）が旧ホテル神州の跡地に建設し運営。地上4階の鉄筋コンクリート製で、延べ床面積約2800㎡、客室68室、計152人が宿泊可能。訪日外国人の利用も強く意識し宿泊客には日、英、中各言語対応で通話・通信無料のスマホ貸し出しのサービスも。宿泊料金は時期により変動するがシングル1名で8000円（食事なし）、ツイン1名で1万1510円（2食付）。



「ソレスト高千穂ホテル」（ミネックス）

## 鹿児島

クルーズ船専用港日本一に王手！

鹿児島県 4月7日、県は鹿児島市の人工島「マリンポートかごしま」で建設中だった「かごしまクルーズターミナル」の供用を開始。鉄骨平屋建て、延べ面積2300㎡という巨大な施設で税関・出入国管理・検疫（CIQ）機能を完備。入管に要する時間の大幅短縮が期待される。同地区では16万トン級的大型クルーズ船が接岸できる埠頭を整備、3月15日には鹿児島港にとり過去

## 沖縄

ユーグレナがエコ認証化計画開始

沖縄県 4月3日、ユーグレナ（本社・港区。出雲 充社長）と、グループ企業の八重山殖産（本社・沖縄県石垣市。中野良平社長）は、内閣府沖縄合同事務局の「平成30年度沖縄国際物流拠点活用推進事業補助金」の交付採択を受け、県内の八重山殖産工場で生産されるクロレラとユーグレナ（ミドリムシ）の「エコ認証化プロジェクト」を開始する。今後より環境に配慮した形で安定生産するために必要な設備投資を行なう他、持続可能な水産業の国際認証規格「ASC／MSC認証」の取得と維持、前述2製品を那覇空港経由で内外の市場に展開することを目指す。